

しのめ

題字は葛文也氏

発行 桜陵会徳島支部

事務局

徳島市名東町2-460-10

和田康昭方

電話

088-633-6464

印刷

徳島県教育印刷(株)



桜陵会 徳島支部

会報発行に寄せて

桜陵会 会長 真 鍋 和 三 郎

徳島支部の皆さん、お久しぶりです。
コロナウイルスの影響で自

粛、自粛と1年を超え未だに緊急事態宣言が出されている状況で様々な社会活動、経済

活動に大きな影響が出て苦しんでおります。

親会におきましては、5月に役員会を開催し6月の総会を開催する方向でおります。

来年が創立100周年となりますので、それに向かってスタートすることになりますので延期や中止は出来ない状況

況です。

まだこれからの話し合いとなりますが、多くの貴重なご意見をいただき進めていこうと考えておりますので、何なりとご意見を寄せていただきたく存じます。

IT化が急激に進展しておりますので、そうしたものも取り入れ、老・壮・青と皆さんが受け入れていただくものを目指したいと考えています。

学校の同窓会の組織には何が求められ、どのような活動がそれに答えることになるのか、経済成熟期に入った国に

催も難しい状況下にあります。次回、開催される総会で皆さんの「事後承認」を受けることとなります。

相互の親睦、母校の発展に尽力された中尾正輝前支部長の後任としては力量不足ですが、精一杯努力してまいります。どうかよろしくお願いいたします。

支部長退任の挨拶

お世話になりました

前 徳島支部長

中尾 正輝



平成22年9月の支部総会におい

て、土橋信二支部長の後を継ぎ、第5代支部長として満10年間務めさせていただきました。

支部長を引き受けた時、飲酒しており、次の日「大変な仕事を引き受けた」事に猛省したことが思い出されます。会報「しのめ」の発行、県内の日帰り温泉旅行など支部活動には皆様の温かいご協力・ご支援のお蔭で責任を果たすことができました。

山口寛支部長、役員を中心に徳島支部の益々のご発展と、会員皆様の武運長久を祈念いたしまして退任のご挨拶といたします。

支部長着任の挨拶

はじめまして

徳島支部長

山口 寛



桜陵会徳島支部会員の皆様、こ

んには。私は昨年の11月に

開催された徳島支部役員会において、中尾正輝支部長の後任に推薦された山口寛です。ご承知のとおり「令和」になってから、徳島支部総会は台風の通過と新型コロナウイルス感染拡大のため、2年間にわたってその開催が見送られてきました。新型コロナウイルス禍の最中であって今年の総会開

プロフィール

- 出身地 徳島県三好市山城町
- 現住所 徳島県小松島市江田町
- 卒業年度 昭和48年3月(高24回卒)
- 職歴 昭和56年4月～平成27年3月 県立高校教員(徳島中央高3年、脇町高9年、城ノ内高8年、富岡東高2年、県教委延べ8年)
- 平成23年4月～25年3月 池田高校長(第31代)「探究科」の新設や文科省指定「英語教育改善のための調査研究事業」、「学校創立90周年記念事業」等に携わる。
- 平成25年4月～27年3月 阿波高校長(第32代) 県教委指定「高校生夢・チャレンジ事業」、「学校創立90周年記念事業」等に携わる。

平成23年4月～25年3月 池田高校長(第31代)「探究科」の新設や文科省指定「英語教育改善のための調査研究事業」、「学校創立90周年記念事業」等に携わる。

一昨年の台風19号、昨年の新型コロナウイルス感染拡大と2回にわたり総会が中止になり残念でなりません。会員の高齢化が課題でありましたが、若い会員の入会によりある程度歯止めがかかってきました。

令和2年度支部総会は中止

2020年10月12日に予定されていた令和2年度桜陵同窓会徳島支部総会は、新型コロナウイルス感染症拡大により、台風の影響で中止された前年度に引き続き2年連続で中止。また今年秋に開催予定の3年度支部総会も同様の理由で中止を決定している。



「池田高校の活動状況」

池田高等学校長

林 日出夫



桜陵会徳島支部の皆様には、日頃より本校教育の発展のために、深いご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝を申し上げます。

さて、本年度（令和2年度）は、新型コロナウイルス感染症対策のための「新しい生活様式」が求められ、「高校総体」や「学校行事」の規模縮小など、多くの制約を余儀なくされました。しかしながら、生徒達は諦めることなく、柔軟な発想と適切な行動で克服してくれました。

「高校総体」に変わる「代替試合」では、山岳部（団体

女子）優勝、レスリング（個人）優勝7名、準優勝7名、ハンドボール（女子）準優勝をはじめ、全国書画展覧会や全国高校書道展における特選、全国高等学校総合文化祭文化連盟賞受賞など、全国レベルの活動成果をあげました。

また、徹底したコロナ感染症対策のもと、短い準備期間であったにも関わらず、生徒自らが創意と工夫を凝らし、新たな企画で運営実行した「東雲祭」は、楽しく温かい時間が共有でき、思い出深い行事となりました。

さらに、コロナ禍における就職・進学試験ではありまし

たが、大塚製薬㈱、日本郵政㈱等の民間企業に13名、徳島県警察、市町役所等の公務員に5名、合計18名の就職。

進学では、徳島大学、鳴門教育大学、滋賀大学などの国立公立大学に22名、私立大学（含短期大学）に66名、各種専門学校に47名の進学が決定しました。

これからも、池田高等学校の益々の発展のため、生徒一人一人の成長と、希望する進路が実現出来るように努力を続けてまいります。皆様方には、今後ともご理解とご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。



鎌倉 満行
(高31回卒)

徳島の森づくりに情熱



私は昭和55年に池田高校を卒業し大学を経て昭和60年に徳島県庁に入庁し、主に農林水産部を中心にこれまで奉職をさせて頂いております。

令和2年度からは「公益社団法人徳島森林（もり）づくり推進機構」（以下「機構」）に出向させて頂いております。機構は平成26年4月1日に「公益社団法人徳島県林業公社」と「公益社団法人とくしま森とみどりの会」が合併して

発足した団体で、「徳島県豊かな森林を守る条例」の実行組織として、県土の3/4を占める森林に関するワンストップ窓口となり、「公有林化」の推進、森林所有者からの委託を受けての森林整備事業、各種団体や企業など多様な主体と協働した森林管理、林業の機械化の先導的な推進、とくしま林業アカデミーによる林業の担い手づくり等について、関係団体や県、市町村等の皆様のご協力を得なが

ら全方位的に徳島の森林づくりに進めています。コロナ禍の対策では木材の需要減における、「滞留原木対策」という新たな分野に果敢に取り組みなど、定年まで1年を切りましたが今後もしっかりと「徳島の山」を守る業務に励んで参りたいと思います。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻頂きますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社 徳島大正銀行

取締役副会長 吉岡 宏美

徳島市富田浜二丁目四十一番地

〇八八―六三三―三二二

(有) ヒューマンスペース

代表取締役 藤 本 雅 俊 (高13回卒)

〈事務所〉 〒770-0807 徳島市中前川町1-5

〈自宅〉 〒770-0801 徳島市上助任町蛭子114-2

Tel (〇八八) 六二四-〇〇三二
Fax (〇八八) 六二六-二二二

ザ・グランドパレス

徳島市寺島本町西一 110八八-六六-二二二

パークウエストン

徳島市南前川町三 110八八-六四-三三三三

四国ガスサービスショップ

(有) リビング・エイコー

代表取締役 久 保 花 子 (高4回卒)

徳島市住吉四丁目五十六四

Tel (〇八八) 六三三-三三六二

(有) おおにし

代表取締役 大 西 久

(西祖谷出身旧名高見)

式年士
工五表
装業級
内創一

徳島市名東町二一五八八-三
Tel (〇八八) 六三二-三三八〇

池田高校・野球部への思い

野球部元監督

矢川 雅英



(高36回卒)



連覇を成し遂げた時、私は2年生の部員だった。凄いことを達成するまでの過程を2回も身を持って体験した。「日本」の練習をやりや日本一になれる。」恩師薦先生の言葉だ。自分の体が、心がどうなるかと薦先生についていけば甲子園に行けると、想像を絶する厳しい練習にも死に

物狂いで食らいついた。しかし私が3年の春、選抜は不祥事出場辞退。夏、県予選決勝18安打16残塁で惜敗。死と背中合わせで取り組んだ高校野球は無残に終わった。不完全なまやも感だけが残った。

それを取り除くために教員となり、監督として甲子園を目指した。20数年取り組んだが甲子園出場の夢は叶わなかった。しかし完全燃焼できた。なぜなら、自慢の教え子たちに恵まれたからだ。彼らが社会人となり、世のために全力で活躍している姿を見たからだ。

また、高校を卒業してから様々な困難があった。池高で「あの練習」をやり抜いたからこそ、体力面・メンタル面でタフになり、数々の困難を乗り越えられた。あの経験がなかったら挫折を繰り返す人生だったに違いない。

最後に、多感なあの瞬間、人生を左右する刺激を受けたからこそ、今の自分がある。想像すらしてなかった教員になれたし、管理職にもなれた。その教えは、ごく普通の生徒の人生を大きく変えてくれた。それが池高であり、野球部である。今私が思うことは、生徒・選手として、教員・監督・保護者として池高に関われたことに感謝しかない。

桜陵会東京支部の
ご紹介支部長
向井 利典
(高13回卒)

この度は東京支部の活動をご紹介する機会をいただき、ありがとうございます。

ただ、昨年来の新型コロナ蔓延のため、活動は休眠状態になっており、以下にご紹介する活動はその前の状況である事にご容赦ください。

東京支部は通称「東京桜陵会」です。昭和2年に旧制池田中学の第1回生が卒業し、東京に進学した学生たちの間で故渡辺岩男氏(池中第1回)の主唱で発足したようです。その後、東京桜陵会と称して、長らく首都圏在住の池中・池高同窓会として活動してきました。なお、東京地区には旧三好郡出身者による三好同郷会(明治44年発足)という集まりもあり、春に三好同郷会、秋に東京桜陵会の総会を開催しています。

初代の会長(東京支部長)は故高林利秋氏(池中第3回)、その後、故曾我部久氏(池中第5回)、土井豊氏(池高第4回)、2012年に私が引き継いで現在に至っています。事務局長は藤本登氏(池高第14回)が担当しています。

活動は年1回の総会の他、ゴルフコンペ「池高やまびこ会」を年2回、春と秋に実施しています。このゴルフコンペは当初、池高1回～5回の有志による一五会から発展して、現在に至っています。

総会は、大体40人前後の同窓生が集い、池田から学校長と桜陵会会長をお迎えして池田高校の活動や三好市の現状をご報告いただき、その後は懇親会に移るのが通例です。会員やその関係者によるアトラクションを催すなど参加者には好評ですが、最近は会員の高齢化に伴い、若い人の参加者を増やすことが大きな課題となっています。

社会が変化していく中でも同窓生の世代を超えたコミュニケーションの意義は不変であるはずで、今後も東京桜陵会の発展に力を尽くしていきたいと思ひます。

CHUO
DRIVING SCHOOL

●入校日
毎週月、水、木、土曜日
●担任制
●電話六二三一〇〇〇三
徳島市城東町一丁目七十四二

土地 建物 会社の登記 農地転用 開発許可等
行政書士 片山朝生事務所

片山 朝生 (高5回卒)
事務所 徳島市東出来島町三五番地
Tel 六五三二二八〇八 Fax 六五三二二九〇九
自宅 徳島市八万町内浜一五一番地五
Tel 六二二二二〇六

建築 企画・設計・管理

有限 石井建築アトリエ

代表取締役 石井 哲夫 (高24回卒)
〒771-1151 徳島市応神町古川字鯛ノ浜一九一四
Tel (〇八八) 六九八一九三三三 Fax (〇八八) 六九八一九三九六
本社 〒771-0206 板野郡北島町高房字東野神ノ本一九一七

ニコンエシロール社中国担当卸部門

(株)アイシシステム

代表取締役 逢坂 正治 (高6回卒)
徳島市幸町三丁目四一(美馬市重清)
Tel (〇八八) 六五六一四七七七
小売部門 メガネセンターアイ
徳島市幸町三丁目四一(美馬市重清)
高齢ですが働いています。視力相談等は遠慮なくご相談を。皆様のお役に立てれば最高です。

「内科・消化器内科・内視鏡内科」

いもと内科クリニック

院長/医学博士 井本 佳孝 (高44回卒)
〒770-8070 徳島市八万町犬山二二三一一
Tel (〇八八) 六七八一三三三八 Fax (〇八八) 六七八一二一〇七

桜陵会本部 「事務局だより」

徳島支部の皆様、日頃は本校教育にご協力いただき心からお礼申し上げます。池田高校は4月8日に新入生162名を迎えました。感染対策のために授業や行事の方法を工夫しながらも、無事生徒とともに新年度をスタートできました。今年度は、徳島県が進める「GIGAスクール構想」のもとに、池田高校の教室にも電子黒板が設置され、生徒一人ずつにタブレットが配置されます。ICT機器をいかに活用できるか、教員も準備に奮闘中です。日々進化する社会にたくましく対応できる力を身につけられるよう、新たな学びにチャレンジしております。来年度は、池田高校創立100周年を迎えます。先輩方の100年の歴史や功績を学びつつ、現在や未来の池田高校の可能性を描けるよう、節目の年を迎える準備も進めて参ります。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

(5月20日記 岡久展子)

令和2年度末 定期異動

■退職者

向井 和博 教頭

■転出者

(教頭)

令和2・3年度 役員

任期 令和4年度総会迄

役職名	卒年度	氏名
顧問	高2回	橋本 章枝
〃	高3回	大下 久
〃	高4回	久保 花子
〃	高5回	川人 幸夫
〃	高6回	土橋 信二
〃	〃	朝田 元子
〃	高8回	安藤 和子
〃	高10回	須那多美子
〃	高13回	中尾 正輝
支部長	高24回	山口 寛
副支部長	高14回	大岡 慶久
〃	高23回	小倉 智子
幹事長	高26回	和田 康昭
監事	高5回	片山 朝生
〃	高13回	土井 正敏
常任幹事	高13回	中村 克己
〃	〃	藤本 雅俊
〃	高21回	白川 義人
〃	高32回	篠原 章
〃	高36回	勝瑞 忠
幹事	高30回	石川 省三
〃	高31回	鎌倉 満行
〃	高34回	田村 和之
〃	高35回	笠井 孝明
〃	高37回	新田敬一郎

(教諭)

池田高校辻校より

原 史磨 教頭

(教頭)

徳島中央高校より

都築 吉則 副校長

(副校長)

徳島中央高校へ

多田晋太郎 教諭(国語)

■転入者

徳島中央高校へ

東山 真也 教諭(地歴)

脇町高校へ

松原 大輔 教諭(数学)

つるぎ高校へ

元木 博美 教諭(英語)

つるぎ高校へ

井内 泰代 教諭(国語)

池田高校三好校へ

原 美紀 教諭(英語)

(教諭)

池田高校辻校へ

阿波西高校校長へ

美馬 和彦 教頭

(教諭)

富岡東高校より

華岡 愛文 教諭(数学)

阿波西高校より

松原 歌織 教諭(英語)

那賀高校より

篠原 嘉恵 教諭(国語)

桜陵会本部総会

令和3年6月27日(日) 本部総会が桜陵会館で開催されました。同会には24名が出席、山口徳島支部長が支部の近況を報告しました。

林日出夫学校長から、進路・部活動の状況や電子黒板・タブレット端末等を活用した「GIGAスクール」・「創立100周年記念事業」等の説明がありました。

続いて、令和2年度の事業・決算報告や役員改選、令和3年度の事業計画・予算書の順に協議して承認されました。令和4年度に実施する「創立100周年記念事業」について、今後の進め方や学校要望案(体育館緩帳の新調、記念誌・名簿の発刊、記念式典等)の説明がありました。



白川 義人

大下久先輩を悼む



支部顧問の大下久先輩(高3回卒)が5月、亡くなりました。大下先輩は旧制池田中学校に昭和21年春に入学。戦後の学制改革により転校を余儀なくされ、新制大吹高校を卒業されている。支部では副支部長を務められ、現在も顧問として役員会や総会に出席、貴重なご助言をいただいていた。細身で長身白髪。ダンディーな人であった。温厚な人柄で酒をこよなく愛し、若いころは秋田町や栄町を肩で風切って飲み歩いたという。奥様によれば、亡くなる前日には好きな鳴門競艇に行く相談をするなど、何の変化も感じさせなかった。苦しみもなく人手を煩わせることもなく、まことに潔い最期であったと拝察する。数年前、大下先輩に声をかけていただき、氏の経営する会社に短い間ではあったが、お世話になった。いま一度お会いしていろいろお話を聞きたかった。享年87歳。ご冥福をお祈り申し上げます。

大岡慶久氏を悼む



大岡慶久副支部長(高14回卒)が7月に逝去された。大岡氏は昭和44年4月～平成17年3月まで36年間、県立学校教員を務め、平成13年度には県教委生涯学習課課長・県立鳥居記念博物館長、平成14～16年度は県立阿波高校校長を歴任され、平成16年度には、徳島県高等学校長協会・全国高等学校長協会常務理事として高等学校教育の振興にリーダーシップを発揮した。退職後は、徳島県警察学校特別講師として9年間勤務し、警察官の育成に尽力した。昭和43年に「ひまわり俳句会」に入門し、句作歴は53年間に及び「ひまわり」編集長や読売新聞阿波文芸選者を務めた。長年にわたる教育功勞により、平成27年に「瑞宝小受章」を受章し、ご逝去に際し「正六位」に叙せられた。享年76歳。心からご冥福をお祈りします。

編集後記

57年ぶりのオリンピックは無事に終わったが、相変わらず新型コロナウイルスが猛威を振るっている。パラリンピックも開かれているのに…とつくづく思う。さてこのたび会誌「しのめ」編集長という大役をいただいた。来年は母校創立100周年というまことに意義深い節目の年。1世紀の間には想像を超える出来事があったに違いない。暗く長かった戦前戦中の時代、希望に満ちた戦後。幾多の先輩たちが築いてこられた幾星霜を思い感慨に浸る。全国を制した野球部、率いた篤先生は不滅の金字塔を打ち立てられた。栄光をいま一度、と念じたい。会員諸氏のご健勝をお祈り申し上げます。(白)